

総合的環境指標

(概要)

-) 事象面で分けた各重点分野における個別指標群

-) 事象面で分けた各重点分野を代表的に表す指標の組み合わせによる指標群

-) 環境の各分野を横断的に捉えた指標群

-) 環境と社会経済の関係を端的に表す指標

【事象面で分けた各重点分野を代表的に表す指標の組み合わせによる指標群】

指標	年・年度	単位	初期値 (年)	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	目指すべき 方向	長期的な 傾向(1)	直近の 傾向(2)	目標値 (年)	目標のある 関連計画等	備考欄								
地球温暖化に関する取組																																					
温室効果ガスの排出量及び吸収量																																					
温室効果ガスの排出量	年度	百万トンCO2 換算	1274 (1994)	1,274	1,338	1,352	1,345	1,302	1,324	1,342	1,317	1,349	1,353	1,349	1,351	1,333	1,365	1,282	1,207	1,257	1,308				↓	↓	↑										
温室効果ガスの吸収量	年度	百万トンCO2 換算	45.7 (2008)															45.7	46.9	49.7	52.1				↑	↑	↑										
生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する取組																																					
脊椎動物、昆虫、維管束植物の各分類群における評価対象種数に対する絶滅のおそれのある種数の割合																																					
脊椎動物	調査時点	%	18 (2005)																												評価対象種に対する絶滅のおそれのある種数の割合については、見直し時点で評価対象種の検討も行っているため、経年的な変化をみる指標と切り切れない						
昆虫	調査時点	%	0.5 (2005)																												評価対象種に対する絶滅のおそれのある種数の割合については、見直し時点で評価対象種の検討も行っているため、経年的な変化をみる指標と切り切れない						
維管束植物	調査時点	%	23.8 (2005)																												評価対象種に対する絶滅のおそれのある種数の割合については、見直し時点で評価対象種の検討も行っているため、経年的な変化をみる指標と切り切れない						
物質循環の確保と循環型社会の構築のための取組																																					
資源生産性	年度	万円/t	22.2 (1994)	22.2	22.8	23.3	24.0	25.5	25.6	24.8	24.5	25.7	27.8	29.1	30.8	32.4	33.7	33.9	37.9	37.5												↑	↑	↓	H32年度: 46万円/トン 第三次循環型社会形成推進基本計画(環境省)		
循環利用率	年度	%	8.2 (1994)	8.2	8.7	8.8	8.9	9.4	9.7	10.0	9.6	10.2	11.2	11.8	12.2	12.8	13.5	14.1	14.9	15.3												↑	↑	↑	H32年度: 17% 第三次循環型社会形成推進基本計画(環境省)		
最終処分量	年度	100万t	96.1 (1994)	96.1	81.6	80.8	81.2	70.2	61.9	56.0	52.0	48.3	37.9	33.7	31.1	28.1	26.6	22.4	18.8	19.2												↓	↓	↑	H32年度: 1700万トン 第三次循環型社会形成推進基本計画(環境省)		
水環境保全に関する取組																																					
公共水域の環境基準達成率																																					
河川、湖沼、海域のBOD又はCOD	年度	達成率(%)	77.9 (1998)					77.9	78.7	79.4	79.5	81.7	83.8	85.2	83.4	86.3	85.8	87.4	87.6	87.8	88.2												↑	↑	↑		
湖沼の全窒素達成率	年度	達成率(%)	7.1 (2000)							7.1	6.3	9.4	6.3	8.6	11.4	8.6	11.4	8.1	15.4	13.2	12.8												↑	↑	↓		
湖沼の全燐達成率	年度	達成率(%)	46.3 (2000)							46.3	44.3	42.0	50.5	51.0	52.4	52.3	51.8	57.1	58.3	53.0	51.3												↑	↑	↓		
海域の全窒素達成率	年度	達成率(%)	77.3 (2000)							77.3	88.3	88.2	88.8	82.9	86.2	87.5	92.8	92.1	94.7	90.1	94.0												↑	↑	↑		
海域の全燐達成率	年度	達成率(%)	84.8 (2000)							84.8	87.6	88.2	88.8	88.2	88.2	86.8	87.5	89.5	84.8	87.5	87.4												↑	↑	↓		
公共用水域全体の健康項目達成率	年度	達成率(%)	99.2 (1999)						99.2	99.2	99.2	99.3	99.3	99.3	99.1	99.3	99.1	99.0	99.1	98.9	98.9												↑	↓	→		
地下水の環境基準達成率																																					
地下水の環境基準超過率(全体)	年度	環境基準超過率(%)	8.1 (2000)							8.1	7.2	6.7	8.2	7.8	6.3	6.8	7.0	6.9	5.8	6.9	5.9												↓	↓	↓		
大気環境保全に関する取組																																					
大気汚染物質に係る環境基準達成率																																					
微小粒子状物質(PM2.5)	年度	達成率(%)	28.2 (2011)																														↑	-	↑	一般局と自排局をあわせた値 長期基準及び短期基準の両方を満たした環境基準達成率の割合	
光化学オキシダント	年度	達成率(%)	0.4 (1994)	0.4	0.7	0.3	0.1	0.6	0.3	0.6	0.6	0.5	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.5												↑	↓	↑	一般局と自排局をあわせた値	
二酸化窒素	年度	達成率(%)	90 (1994)	90.0	92.0	89.9	89.1	88.8	94.6	95.1	94.8	95.7	96.7	97.5	97.9	97.8	98.7	98.9	99.0	99.5	99.9													↑	↑	↑	一般局と自排局をあわせた値
浮遊粒子状物質	年度	達成率(%)	58.2 (1994)	58.2	60.0	66.2	57.9	62.6	88.0	81.4	63.2	49.0	89.6	98.0	95.8	93.0	89.3	99.5	99.0	93.0	70.0													↑	↑	↓	一般局と自排局をあわせた値
包括的な化学物質対策の確立と推進のための取組																																					
環境基準、目標値、指針値が設定されている有害物質については、その達成率																																					
公共用水域の水質汚濁に係る環境基準達成率																																					
河川BOD、湖沼COD、海域COD	年度	達成率(%)	77.9 (1998)					77.9	78.7	79.4	79.5	81.7	83.8	85.2	83.4	86.3	85.8	87.4	87.6	87.8	88.2													↑	↑	↑	

1)長期的な傾向とは初期値(1994年以降の最古値)から最新値までの傾向
2)直近の傾向とは、前年値(又は前回調査値)から最新までの傾向

【事象面で分けた各重点分野を代表的に表す指標の組み合わせによる指標群】

指標	年・年度	単位	初期値 (年)	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	目指す べき 方向	長期的な 傾向(1)	直近の 傾向(2)	目標値 (年)	目標のある 関連計画等	備考欄		
湖沼の全窒素・全燐達成率	年度	達成率(%)	38.3 (1998)					38.3	40.6	40.3	38.0	34.6	43.0	43.9	46.6	45.9	46.4	50.0	52.2	50.4	47.9			↑	↑	↓					
海域の全窒素・全燐達成率	年度	達成率(%)	70.5 (1998)					70.5	72.6	71.2	82.1	80.3	84.2	78.3	82.2	80.3	82.2	84.9	81.5	81.6	84.8			↑	↑	↑					
全体の健康項目全体の達成率	年度	達成率(%)	99.5 (1998)					99.5	99.2	99.2	99.2	99.3	99.3	99.3	99.1	99.3	99.1	99.0	99.1	98.9	98.9			↑	↓	→			1999年度より新規に硝酸性窒素・亜硝酸性窒素・ふっ素並びに ほう素の測定も開始された		
地下水の水質汚濁に係る環境基準達成率																															
地下水の環境基準超過率(全体)	年度	環境基準超過率 (%)	8.1 (2000)							8.1	7.2	6.7	8.2	7.8	6.3	6.8	7.0	6.9	5.8	6.9	5.9			↓	↓	↓			各物質の超過率の平均ではなく、全調査井戸のうち、いずれか の項目で環境基準超過があった井戸の数の割合		
大気汚染物質に係る環境基準達成率																															
微小粒子状物質(PM2.5)	年度	達成率(%)	28.2 (2011)																	26.1	28.2			↑	-	↑			一般局と自排局をあわせた値 長期基準及び短期基準の両方を満たした環境基準達成局の割合		
光化学オキシダント	年度	達成率(%)	0.4 (1994)	0.4	0.7	0.3	0.1	0.6	0.3	0.6	0.6	0.5	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.5			↑	↓	↑			一般局と自排局をあわせた値		
二酸化窒素	年度	達成率(%)	90 (1994)	90.0	92.0	89.9	89.1	88.8	94.6	95.1	94.8	95.7	96.7	97.5	97.9	97.8	98.7	98.9	99.0	99.5	99.9			↑	↑	↑			一般局と自排局をあわせた値		
浮遊粒子状物質	年度	達成率(%)	58.2 (1994)	58.2	60.0	66.2	57.9	62.6	88.0	81.4	63.2	49.0	89.6	98.0	95.8	93.0	89.3	99.5	99.0	93.0	70.0			↑	↑	↓			一般局と自排局をあわせた値		
有害大気汚染物質に係る環境基準、指針値達成率																															
環境基準が設定されている物質	年度	超過率(%)	16.2 (1998)					16.2	8.2	7.3	5.0	2.3	2.1	1.5	1.1	0.9	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1			↓	↓	→			ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、 ジクロロメタンは2001年からのデータ。		
指針値が設定されている物質	年度	超過率(%)	0.6 (2003)										0.6	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3			↓	↓	→			アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、 ニッケル化合物、クロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエ ン、ヒ素及びその化合物。 ただし、クロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエンは2006 年から、ヒ素及びその化合物は2010年からのデータ。		
PRTR制度の対象物質の排出量及び移動量	年度	トン/年	529823 (2001)							529,823	501,359	527,892	499,059	489,292	470,484	456,264	398,947	348,682	379,343	398,870			↓	↓	↓						
化学物質審査規制法に基づくスクリーニング評価及びリスク評価の実施状況(優先評価化学物質の指定物質数)	年度	化学物質数	87 (2010)																	87	95	140			↑	↑	↑				
各種の環境調査・モニタリングの実施状況(調査物質数、地点数、媒体数)																															
調査地点数	年度	地点数	376 (2005)													373	417	226	264	279	283			↓	↓				2007年度までは、各媒体の調査を行った地点数の単純合計(の べ地点数)、2008年度以降は、複数の媒体を採取した地点を1地 点とした地点数の合計値。		
調査物質数	年度	物質数	62 (2005)													112	69	66	44	42	35			↓	↓				初期環境調査及び詳細環境調査の一部の年度で、未実施の調 査媒体あり。		

1)長期的な傾向とは初期値(1994年以降の最古値)から最新値までの傾向
2)直近の傾向とは、前年値(又は前回調査値)から最新までの傾向

【事象面で分けた各重点分野を代表的に表す指標の組み合わせによる指標群】

指標	年・年度	単位	初期値 (年)	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	目指すべき 方向	長期的な 傾向(1)	直近の 傾向(2)	目標値 (年)	目標のある 関連計画等	備考欄										
地球温暖化に関する取組																																							
温室効果ガスの排出量及び吸収量																																							
温室効果ガスの排出量	年度	百万トンCO2 換算	1274 (1994)	1,274	1,338	1,352	1,345	1,302	1,324	1,342	1,317	1,349	1,353	1,349	1,351	1,333	1,365	1,282	1,207	1,257	1,308				↓	↓	↑												
温室効果ガスの吸収量	年度	百万トンCO2 換算	45.7 (2008)															45.7	46.9	49.7	52.1				↑	↑	↑												
生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する取組																																							
脊椎動物、昆虫、維管束植物の各分類群における評価対象種数に対する絶滅のおそれのある種数の割合																																							
脊椎動物	調査時点	%	18 (2005)																												評価対象種に対する絶滅のおそれのある種数の割合については、見直し時点で評価対象種の検討も行っているため、経年的な変化をみる指標と切り切れない								
昆虫	調査時点	%	0.5 (2005)																												評価対象種に対する絶滅のおそれのある種数の割合については、見直し時点で評価対象種の検討も行っているため、経年的な変化をみる指標と切り切れない								
維管束植物	調査時点	%	23.8 (2005)																												評価対象種に対する絶滅のおそれのある種数の割合については、見直し時点で評価対象種の検討も行っているため、経年的な変化をみる指標と切り切れない								
物質循環の確保と循環型社会の構築のための取組																																							
資源生産性	年度	万円/t	22.2 (1994)	22.2	22.8	23.3	24.0	25.5	25.6	24.8	24.5	25.7	27.8	29.1	30.8	32.4	33.7	33.9	37.9	37.5												↑	↑	↓	H32年度:46 万円/トン	第三次循環型社会形成推進基本計画(環境省)			
循環利用率	年度	%	8.2 (1994)	8.2	8.7	8.8	8.9	9.4	9.7	10.0	9.6	10.2	11.2	11.8	12.2	12.8	13.5	14.1	14.9	15.3													↑	↑	↑	H32年度: 17%	第三次循環型社会形成推進基本計画(環境省)		
最終処分量	年度	100万t	96.1 (1994)	96.1	81.6	80.8	81.2	70.2	61.9	56.0	52.0	48.3	37.9	33.7	31.1	28.1	26.6	22.4	18.8	19.2													↓	↓	↑	H32年度: 1700万トン	第三次循環型社会形成推進基本計画(環境省)		
水環境保全に関する取組																																							
公共水域の環境基準達成率																																							
河川、湖沼、海域のBOD又はCOD	年度	達成率(%)	77.9 (1998)					77.9	78.7	79.4	79.5	81.7	83.8	85.2	83.4	86.3	85.8	87.4	87.6	87.8	88.2													↑	↑	↑			
湖沼の全窒素達成率	年度	達成率(%)	7.1 (2000)							7.1	6.3	9.4	6.3	8.6	11.4	8.6	11.4	8.1	15.4	13.2	12.8													↑	↑	↓			
湖沼の全燐達成率	年度	達成率(%)	46.3 (2000)							46.3	44.3	42.0	50.5	51.0	52.4	52.3	51.8	57.1	58.3	53.0	51.3													↑	↑	↓			
海域の全窒素達成率	年度	達成率(%)	77.3 (2000)							77.3	88.3	88.2	88.8	82.9	86.2	87.5	92.8	92.1	94.7	90.1	94.0													↑	↑	↑			
海域の全燐達成率	年度	達成率(%)	84.8 (2000)							84.8	87.6	88.2	88.8	88.2	88.2	86.8	87.5	89.5	84.8	87.5	87.4													↑	↑	↓			
公共用水域全体の健康項目達成率	年度	達成率(%)	99.2 (1999)						99.2	99.2	99.2	99.3	99.3	99.3	99.1	99.3	99.1	99.0	99.1	98.9	98.9													↑	↓	↑			
地下水の環境基準達成率																																							
地下水の環境基準超過率(全体)	年度	環境基準超過率(%)	8.1 (2000)							8.1	7.2	6.7	8.2	7.8	6.3	6.8	7.0	6.9	5.8	6.9	5.9													↓	↓	↓			
大気環境保全に関する取組																																							
大気汚染物質に係る環境基準達成率																																							
微小粒子状物質(PM2.5)	年度	達成率(%)	28.2 (2011)																															↑	-	↑		一般局と自排局をあわせた値 長期基準及び短期基準の両方を満たした環境基準達成率の割合	
光化学オキシダント	年度	達成率(%)	0.4 (1994)	0.4	0.7	0.3	0.1	0.6	0.3	0.6	0.6	0.5	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.5													↑	↓	↑		一般局と自排局をあわせた値	
二酸化窒素	年度	達成率(%)	90 (1994)	90.0	92.0	89.9	89.1	88.8	94.6	95.1	94.8	95.7	96.7	97.5	97.9	97.8	98.7	98.9	99.0	99.5	99.9														↑	↑	↑		一般局と自排局をあわせた値
浮遊粒子状物質	年度	達成率(%)	58.2 (1994)	58.2	60.0	66.2	57.9	62.6	88.0	81.4	63.2	49.0	89.6	98.0	95.8	93.0	89.3	99.5	99.0	93.0	70.0														↑	↑	↓		一般局と自排局をあわせた値
包括的な化学物質対策の確立と推進のための取組																																							
環境基準、目標値、指針値が設定されている有害物質については、その達成率																																							
公共用水域の水質汚濁に係る環境基準達成率																																							
河川BOD、湖沼COD、海域COD	年度	達成率(%)	77.9 (1998)					77.9	78.7	79.4	79.5	81.7	83.8	85.2	83.4	86.3	85.8	87.4	87.6	87.8	88.2														↑	↑	↑		

1)長期的な傾向とは初期値(1994年以降の最古値)から最新値までの傾向
2)直近の傾向とは、前年値(又は前回調査値)から最新までの傾向

【事象面で分けた各重点分野を代表的に表す指標の組み合わせによる指標群】

指標	年・年度	単位	初期値 (年)	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	目指す べき 方向	長期的な 傾向(1)	直近の 傾向(2)	目標値 (年)	目標のある 関連計画等	備考欄		
湖沼の全窒素・全燐達成率	年度	達成率(%)	38.3 (1998)					38.3	40.6	40.3	38.0	34.6	43.0	43.9	46.6	45.9	46.4	50.0	52.2	50.4	47.9			↑	↑	↓					
海域の全窒素・全燐達成率	年度	達成率(%)	70.5 (1998)					70.5	72.6	71.2	82.1	80.3	84.2	78.3	82.2	80.3	82.2	84.9	81.5	81.6	84.8			↑	↑	↑					
全体の健康項目全体の達成率	年度	達成率(%)	99.5 (1998)					99.5	99.2	99.2	99.2	99.3	99.3	99.3	99.1	99.3	99.1	99.0	99.1	98.9	98.9			↑	↓	→			1999年度より新規に硝酸性窒素・亜硝酸性窒素・ふっ素並びに ほう素の測定も開始された		
地下水の水質汚濁に係る環境基準達成率																															
地下水の環境基準超過率(全体)	年度	環境基準超過率 (%)	8.1 (2000)							8.1	7.2	6.7	8.2	7.8	6.3	6.8	7.0	6.9	5.8	6.9	5.9			↓	↓	↓			各物質の超過率の平均ではなく、全調査井戸のうち、いずれか の項目で環境基準超過があった井戸の数の割合		
大気汚染物質に係る環境基準達成率																															
微小粒子状物質(PM2.5)	年度	達成率(%)	28.2 (2011)																	26.1	28.2			↑	-	↑			一般局と自排局をあわせた値 長期基準及び短期基準の両方を満たした環境基準達成局の割合		
光化学オキシダント	年度	達成率(%)	0.4 (1994)	0.4	0.7	0.3	0.1	0.6	0.3	0.6	0.6	0.5	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.5			↑	↓	↑			一般局と自排局をあわせた値		
二酸化窒素	年度	達成率(%)	90 (1994)	90.0	92.0	89.9	89.1	88.8	94.6	95.1	94.8	95.7	96.7	97.5	97.9	97.8	98.7	98.9	99.0	99.5	99.9			↑	↑	↑			一般局と自排局をあわせた値		
浮遊粒子状物質	年度	達成率(%)	58.2 (1994)	58.2	60.0	66.2	57.9	62.6	88.0	81.4	63.2	49.0	89.6	98.0	95.8	93.0	89.3	99.5	99.0	93.0	70.0			↑	↑	↓			一般局と自排局をあわせた値		
有害大気汚染物質に係る環境基準、指針値達成率																															
環境基準が設定されている物質	年度	超過率(%)	16.2 (1998)					16.2	8.2	7.3	5.0	2.3	2.1	1.5	1.1	0.9	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1			↓	↓	→			ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、 ジクロロメタンは2001年からのデータ。		
指針値が設定されている物質	年度	超過率(%)	0.6 (2003)										0.6	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2	0.1	0.3			↓	↓	→			アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、 ニッケル化合物、クロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエ ン、ヒ素及びその化合物。 ただし、クロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエンは2006 年から、ヒ素及びその化合物は2010年からのデータ。		
PRTR制度の対象物質の排出量及び移動量	年度	トン/年	529823 (2001)							529,823	501,359	527,892	499,059	489,292	470,484	456,264	398,947	348,682	379,343	398,870			↓	↓	↓						
化学物質審査規制法に基づくスクリーニング評価及びリスク評価の実施状況(優先評価化学物質の指定物質数)	年度	化学物質数	87 (2010)																	87	95	140			↑	↑	↑				
各種の環境調査・モニタリングの実施状況(調査物質数、地点数、媒体数)																															
調査地点数	年度	地点数	376 (2005)													373	417	226	264	279	283				↓	↓			2007年度までは、各媒体の調査を行った地点数の単純合計(の べ地点数)、2008年度以降は、複数の媒体を採取した地点を1地 点とした地点数の合計値。		
調査物質数	年度	物質数	62 (2005)													112	69	66	44	42	35				↓	↓			初期環境調査及び詳細環境調査の一部の年度で、未実施の調 査媒体あり。		

1)長期的な傾向とは初期値(1994年以降の最古値)から最新値までの傾向
2)直近の傾向とは、前年値(又は前回調査値)から最新までの傾向